鯵ヶ沢町

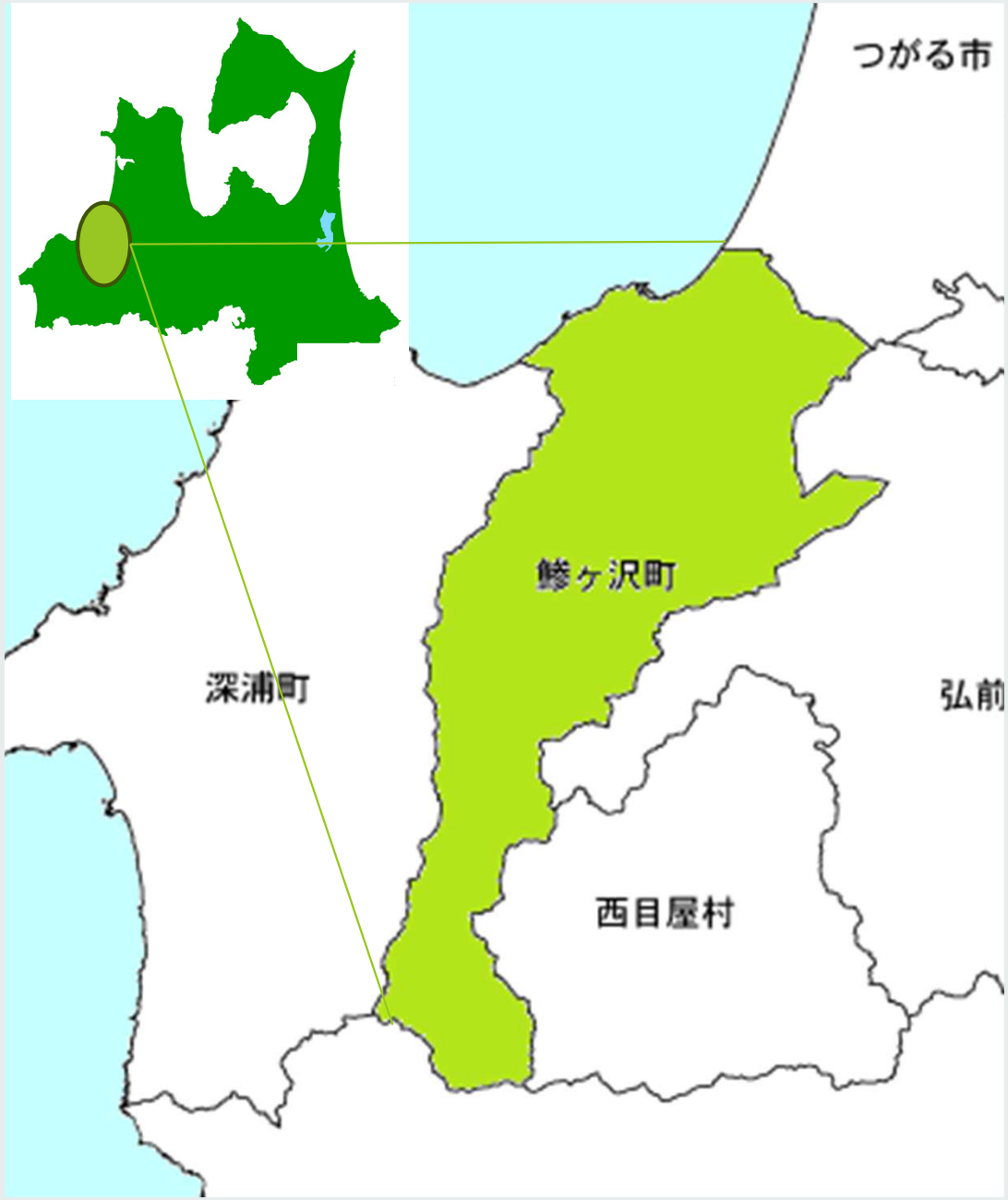
令和８年１１月９日（月）

令和８年度災害復旧促進全国大会意見要望発表



青森県鯵ヶ沢町長　平　田　　衛

青森県鰺ヶ沢町の概要①



	人　口	うち、65歳以上	比　率
男	3,574人	1,514人	42.4%
女	4,171人	2,256人	54.1%
計	7,745人	3,770人	48.7%

- 西海岸に位置し、およそ東西22km、南北40kmと南北に細長く、秋田県境に至る
  町土の8割は山林。総面積は343.08㎢
- 平野部は少なく、市街地は海岸に沿っておよそ5kmの帯状に細長く形成されている
  日本海にそそぐ赤石川、中村川、鳴沢川の3河川流域におよそ40の集落が点在
- 世界自然遺産・白神山地、津軽の岩木山と、山、川、海の三拍子そろった自然豊かなまち

青森県鰺ヶ沢町の概要②



種里城跡・津軽藩発祥の地



北前船・船絵馬



世界自然遺産・白神山地

くろくまの滝・日本の滝百選



青森県鰺ヶ沢町の概要③



舞の海さん・町ふるさと大使



赤石川の金アユ

地酒・安東水軍





ヒラメの漬け丼

青森スプリングリゾート



５年間で２度の豪雨災害による被災①

鯵ヶ沢町

令和４年８月は・・・災害救助法適用・激甚災害指定

<u>津軽地方全域に及ぶ広域的な豪雨</u>

・鯵ヶ沢町は山間部で大雨
　中村川上流(山間部) 369mm　中心部 202mm
・二級河川・中村川の氾濫、内水氾濫も発生
・市街地の住家、商店等、広範囲の浸水被害　400棟以上
・河川・道路・橋梁等の公共土木施設の被災

□被害総額　約37億円

・道路　約156百万円
・河川　約906百万円
・橋梁　約575百万円
・下水道施設　約472百万円
・農作物　約228百万円
・農地　約134百万円
・農業用施設　約197百万円
・水産業関係　約23百万円
・観光商工関係　約1,016百万円
・生涯学習施設等　約8百万円

５年間で２度の豪雨災害による被災②

令和８年９月は…

鯵ヶ沢町に集中した局地的な豪雨・線状降水帯

- 鯵ヶ沢町は中心部で大雨　中心部 326mm　82mm/h
- 町内の小規模河川の氾濫、内水氾濫も発生(中心部)
- 住宅等の浸水被害　97件(住家66件)
- 河川・道路・農地等の公共土木施設の被災

□被害総額　約29億円

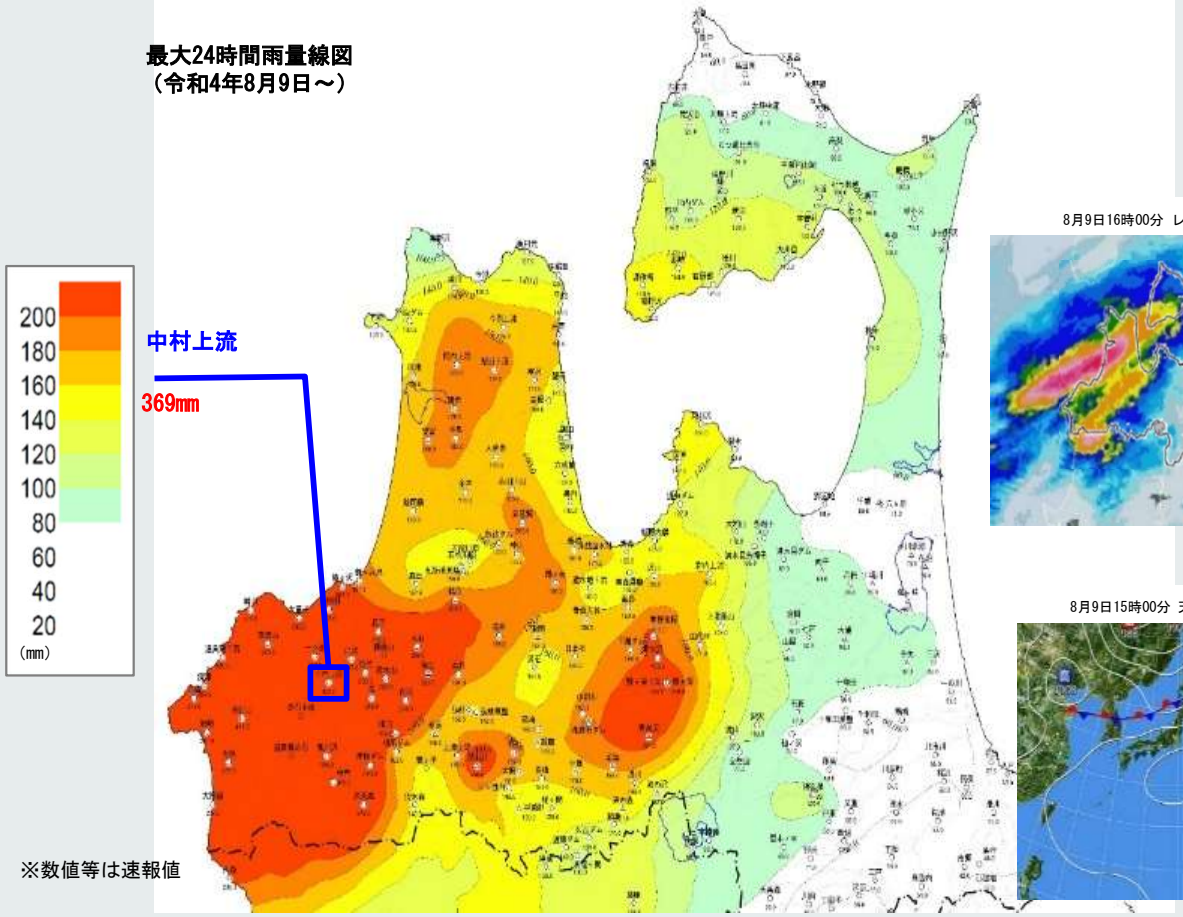
- 道路　約685百万円
- 河川　約421百万円
- 農作物　約16百万円
- 農地　約389百万円
- 農業用施設　約351百万円
- 林道　約200百万円
- 治山　約888百万円

※10月の臨時議会で災害関連費用 2,686百万円の補正予算計上

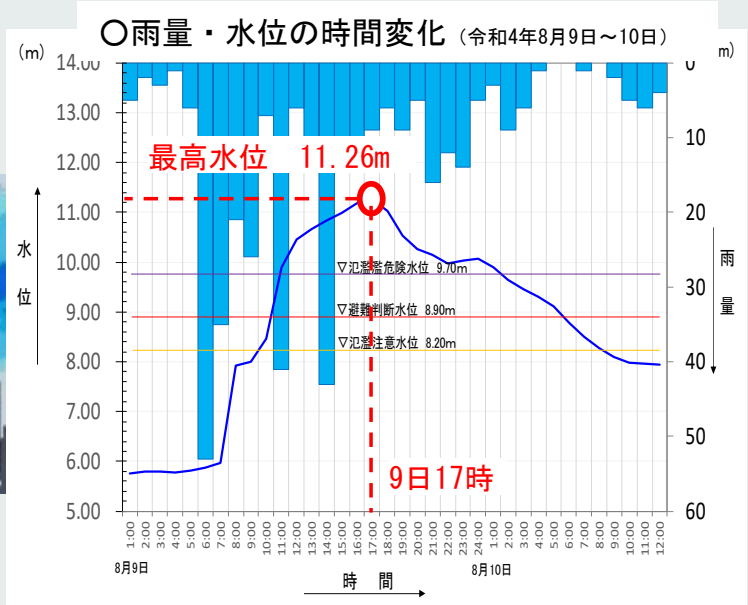
令和４年８月の豪雨災害①

鯵ヶ沢町

- 令和4年8月9日からの大雨により、中村川上流雨量観測所では最大24時間雨量が369mmに達し、これは2001年の観測開始以来、最大の降雨量となった。
- 中村川の中村水位観測所では最高水位T.P.+11.26mに達し、氾濫危険水位を大きく上回った。



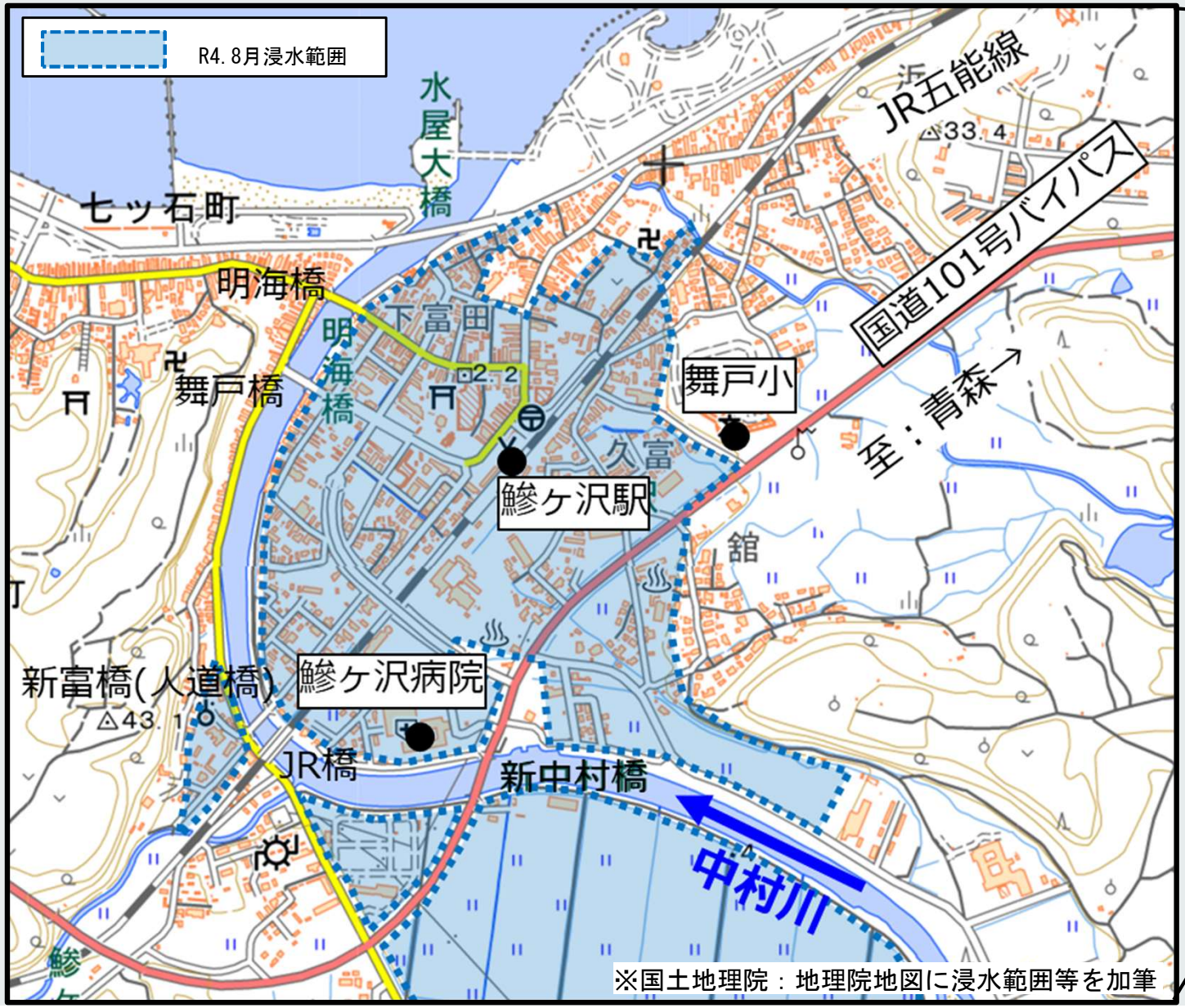
※数値等は速報値

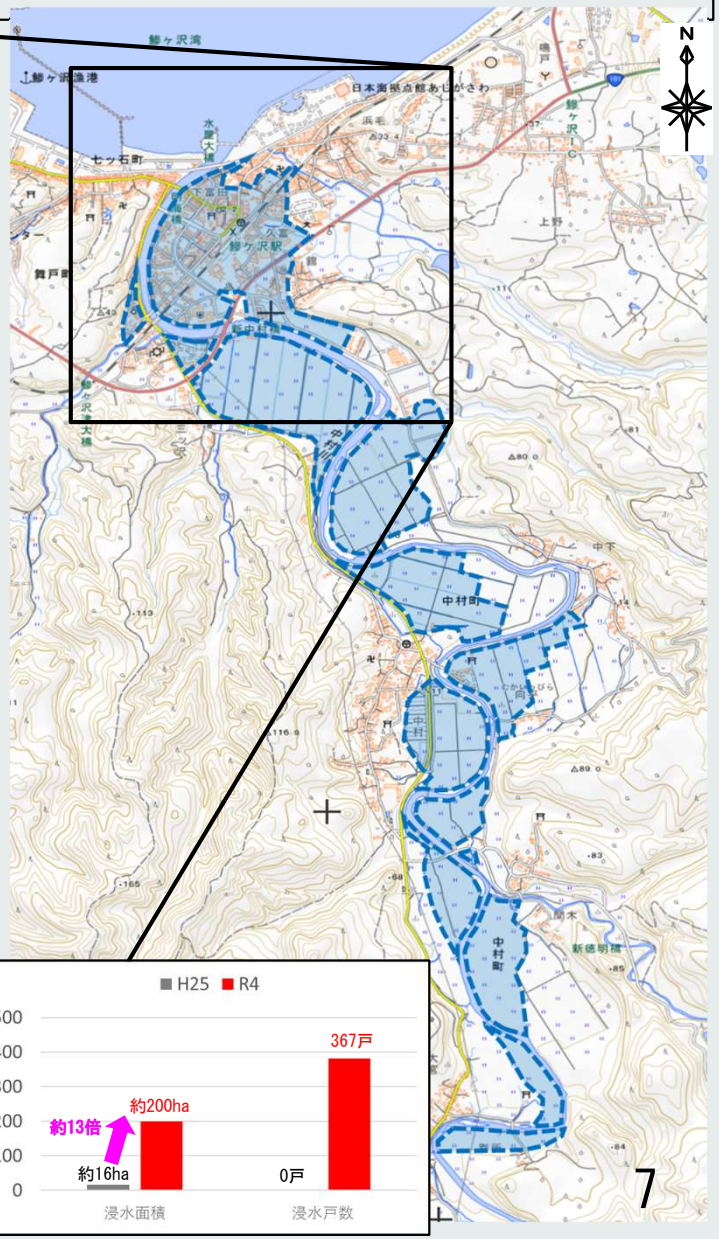


令和４年８月の豪雨災害②

鯵ヶ沢町

- 中村川の中上流部では、堤防から越水した外水氾濫により農地約160haが浸水した。
- 下流部市街地では、低い土地での内水氾濫及び堤防から越水した外水氾濫により、床上305戸、床下62戸、浸水面積40haの浸水被害が発生した。





令和４年８月の豪雨災害③

鯵ヶ沢町

市街地（舞戸地区）の被害状況



冠水した道路上の自動車

令和４年８月の豪雨災害④

鯵ヶ沢町

市街地（舞戸地区）の被害状況



中村川の護岸崩落

令和４年８月の豪雨災害⑤

鯵ヶ沢町

市街地（舞戸地区）の被害状況



令和４年８月の豪雨災害⑥

鯵ヶ沢町

市街地（舞戸地区：鯵ヶ沢病院付近）の被害状況



中村川右岸から町道へ越水する濁流

令和４年８月の豪雨災害⑦

鯵ヶ沢町

市街地（舞戸地区）の被害状況



流木により被害を受けたＪＲ五能線の鉄道橋

令和４年８月の豪雨災害⑧

鯵ヶ沢町

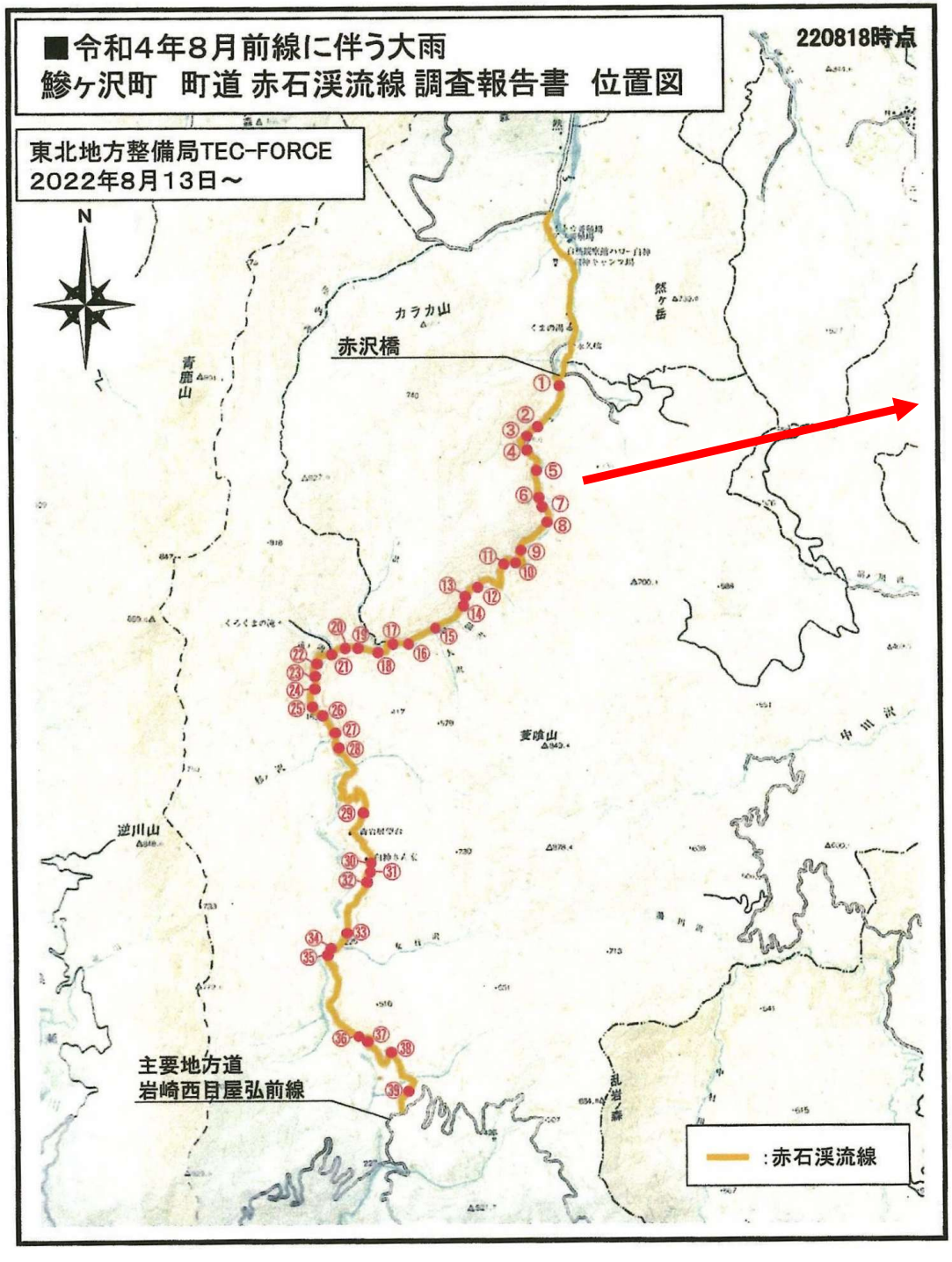
市街地（舞戸地区）の被害状況



浸水被害による市街地での災害廃棄物　1,500トン

令和４年の豪雨災害⑨(町道赤石渓流線 39カ所)

鯵ヶ沢町







令和４年の豪雨災害⑩　国・県の支援等

鯵ヶ沢町

〇鯵ヶ沢町道山子線の開晴橋において、一部橋脚が沈下したため橋梁の全面通行止めを実施。
〇P3橋脚が約60cm沈下している他、支承・伸縮継手等の損傷が確認された。



□再度災害防止のための取組
- 中村川河川激甚災害対策特別緊急事業（青森県）
- 中村川流域治水緊急対策（県、町等）
- 下水道防災（事業間連携）
  下水道事業３基整備（鯵ヶ沢町）

□国の支援
- 国交省テックフォースによる調査
- 国交省の排水ポンプ車派遣（2台）
- 環境省による災害廃棄物処理支援
- 気象庁防災対応支援チーム派遣
- 内閣府による災害救助法の指導
- 被災者生活再建支援制度等

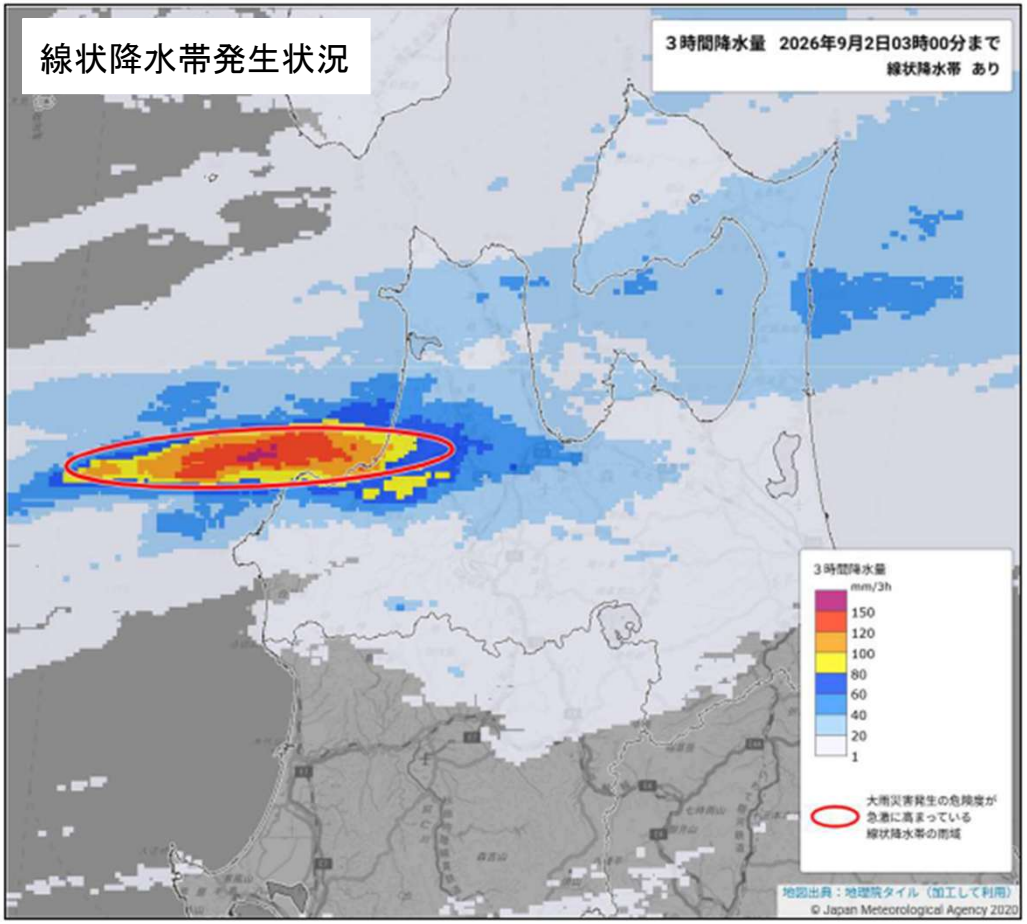
□県の支援
- リエゾンの派遣
- 県代行による復旧工事
  （町道山子線開晴橋）
- 財政支援
  元気な地域づくり支援事業費補助金
  （上限１億円・2/3）の活用

令和８年９月の豪雨災害①

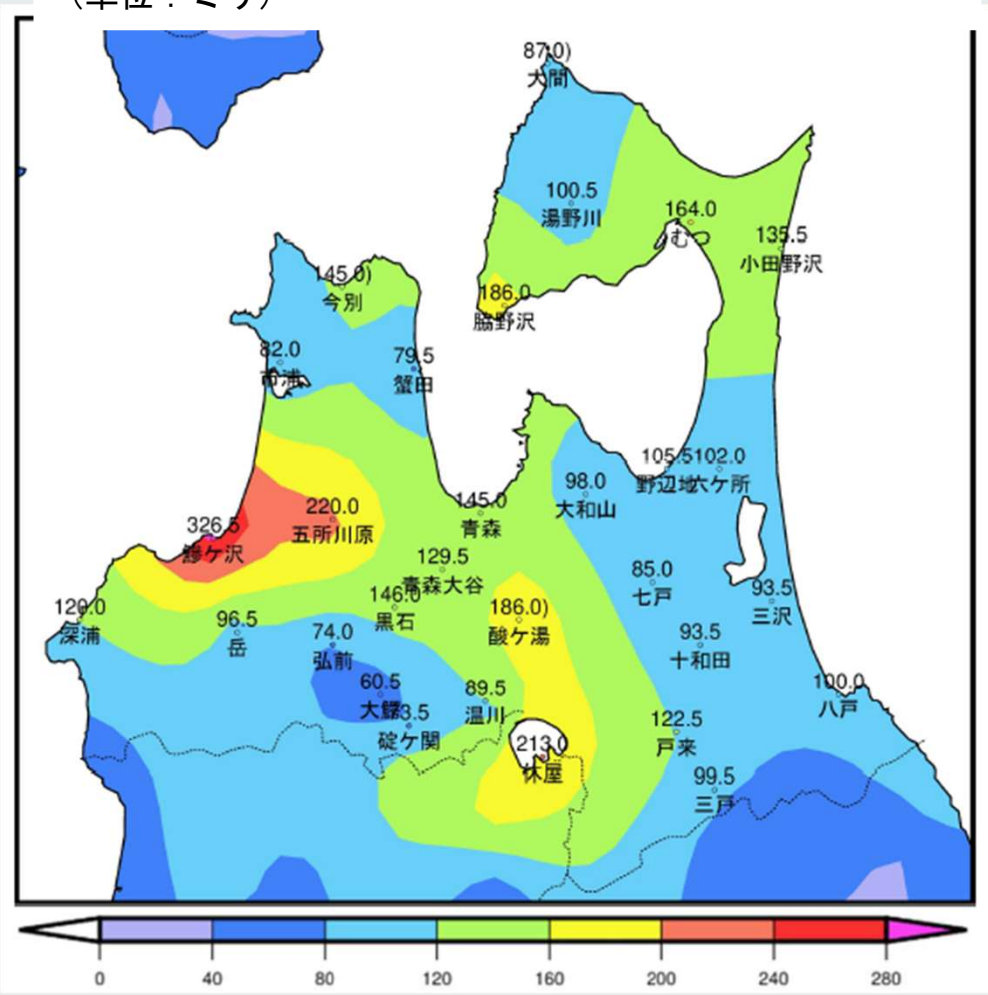
鯵ヶ沢町

- 令和8年9月2日3時頃に線状降水帯が発生。
- 総降水量　326.5mm（9月1日12時～9月4日12時）
- 最大1時間降水量　82.0mm（既往最大を更新）

線状降水帯発生状況



総降水量分布図（9 月1 日12 時～9 月4 日12 時）
（単位：ミリ）



青森地方気象台HPから引用

令和８年９月の豪雨災害②

鯵ヶ沢町



町道中村長平線　法面崩壊状況

令和８年９月の豪雨災害③

鯵ヶ沢町



町道中村長平線　道路崩落

令和８年９月の豪雨災害④

鯵ヶ沢町



市街地（舞戸地区）での内水氾濫

令和８年９月の豪雨災害⑤

鯵ヶ沢町



小規模河川（鮫戸川）が氾濫した住宅地（西松島）

令和８年９月の豪雨災害⑥

鯵ヶ沢町



恩愛沢川（小森地区）沿いの道路崩落

令和８年９月の豪雨災害⑦

鯵ヶ沢町



二級河川徳明川　護岸流出状況

令和８年９月の豪雨災害⑧

鯵ヶ沢町



小津軽沢川の護岸洗掘状況（館前地区）

令和８年９月の豪雨災害⑨

鯵ヶ沢町



住宅への土砂堆積（館前地区）

令和８年９月の豪雨災害⑩

鯵ヶ沢町



小規模河川の用水路の枝木を撤去する町職員
（館前地区小津軽沢川）

□国の支援

・テックフォースによる調査9月5日～16日
・全国防災協会災害復旧技術専門家派遣

□県の支援

・県代行による復旧工事（県道中村長平線）
・県農林水産部からの応援職員の派遣
・被災者生活再建支援等

Ｒ８　東北地方整備局 TEC-FORCE活動状況

鰺ヶ沢町

・9月1日から3日にかけて、低気圧や前線の影響で、青森県では大気の状態が非常に不安定となり、
2日明け方には津軽で線状降水帯が発生。
2日夜遅くから3日未明にかけても、津軽で再び大雨となり、広い範囲で土砂災害や浸水害等が発生。
・9月5日～16日 町の要請により、TEC-FORCEによる被災状況調査を実施。
・9月11日 東北初となるTEC-FORCEアドバイザーを派遣し、大規模法面崩壊箇所の現地調査。

【被害状況】

【気象概要】

気象防災速報（記録的短時間大雨）

令和8年9月2日　3:32　鰺ヶ沢町、深浦町　1時間に約９０ミリ
令和8年9月2日　4:17　弘前市　1時間に約９０ミリ
令和8年9月2日22:59　鰺ヶ沢町　1時間に約９０ミリ

気象防災速報（線状降水帯直前予測・発生）

令和8年9月2日　1:58　直前予測発表
令和8年9月2日　3:08　発生発表

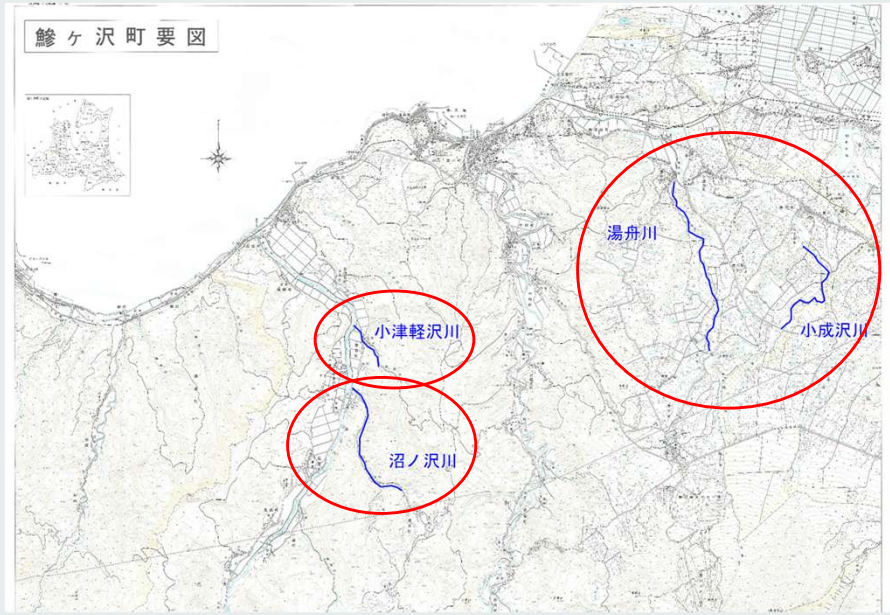
雨量　※気象庁HPより（観測史上1位の値 更新状況）

１時間降水量　※気象庁観測地点
（鰺ヶ沢町）　鰺ヶ沢 82.0mm（9月2日3時）観測史上1位
（青森市）　酸ヶ湯 63.0mm（9月2日23時）観測史上1位
（今別町）　今別 59.5mm（9月3日15時）観測史上1位
日降水量　※気象庁観測地点
（鰺ヶ沢町）　鰺ヶ沢 246.5mm（9月2日23時）観測史上1位

東北地方整備局HPより引用

＜TEC-FORCE及びパートナーの活動位置図＞



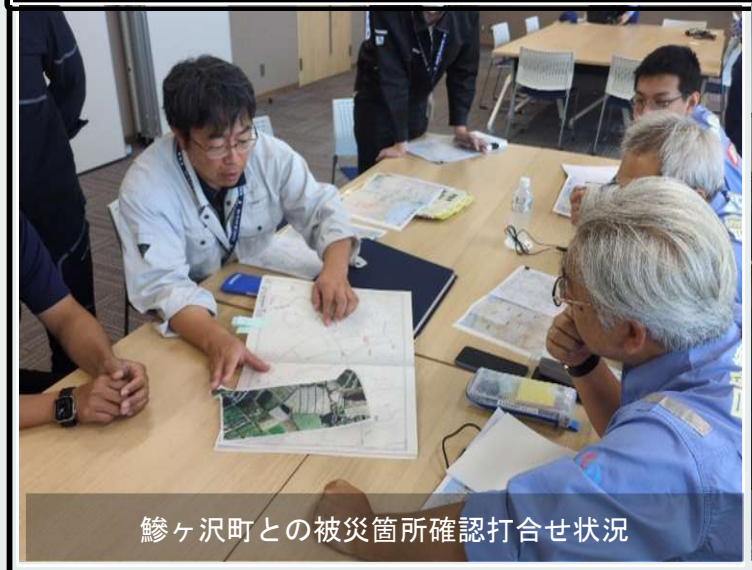


R８　TEC-FORCE活動状況（先遣調査）

鯵ヶ沢町

・9月5日に町の要請により、被災箇所の把握調査を行うため、東北地方整備局からTEC-FORCE(先遣調査班)を派遣。
・９月5日～11日の期間、先遣調査班（１班・4名）による被災箇所把握のための調査を実施した。
・9月11日に鯵ヶ沢町長へ調査結果（被災箇所：道路37箇所・河川52箇所）を報告し手交した。

※TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは、国土交通省の職員が被災現場に出向き被災状況調査や災害対応についての技術的助言などについて支援するために派遣する組織です。


鯵ヶ沢町との被災箇所確認打合せ状況


鯵ヶ沢町との被災箇所確認打合せ及びTV取材状況



鯵ヶ沢町・平田町長へ調査結果手交

R８　TEC-FORCE活動状況(TEC-FORCEアドバイザー)

鯵ヶ沢町

・9月11日に町道中村長平線の大規模な法面崩壊箇所の原因調査のため、東北では初となるTEC-FORCEアドバイザー（弘前大学大学院理工学研究科 佐々木 実 講師）を派遣した。
・TEC-FORCEアドバイザーの派遣に伴い、東北地方整備局からリエゾン班（１班2名）を派遣し調査に帯同した。
※TEC-FORCEアドバイザーとは、技術的判断が難しい事案に即応するため、被災地で学識者から速やかに技術的助言をいただく、新たな枠組みです。





TEC-FORCEアドバイザーとの現地調査



TEC-FORCEアドバイザー取材状況

全国防災協会による災害復旧技術専門家派遣を受けて
～被災状況の把握と早期復旧に向けた技術支援～

鯵ヶ沢町

令和8年9月25日
災害復旧技術専門家2名による支援活動

- 復旧工法に関する技術的助言
- 災害復旧に向けた対応方針の検討
- 早期復旧に向けた技術支援







普通河川小津軽沢の被災箇所にて技術的助言をいただきました

鯵ヶ沢町からの災害復旧における意見と要望

鯵ヶ沢町

1. 災害復旧に必要な予算の十分な確保

災害が頻発・激甚化する中、被災した河川や道路などの公共土木施設を早期に復旧できるよう、災害復旧事業に必要な予算を十分に確保していただきたい。
また、資材価格や人件費の高騰を踏まえた予算措置をお願いしたい。

2. 災害に強い河川・道路づくりと再度災害防止対策の推進

被災した公共土木施設の復旧にあたり、原形復旧だけでなく、再度災害の防止につながる改良復旧がより柔軟に実施できるよう、採択要件の緩和や対象範囲の拡大など、制度の拡充を図っていただきたい。
特に、小規模河川についても、地域の実情に応じた改良復旧が可能となるよう、制度の充実をお願いしたい。

3. 小規模自治体への支援体制の充実

災害復旧には専門的な知識や技術が必要となるが、小規模自治体では技術職員が不足している。
災害復旧に詳しい職員の派遣や、復旧事業に係る事務手続きの簡素化など、被災自治体への支援を充実していただきたい。

鯵ヶ沢町

ご清聴ありがとうございました

